

## 【2016 年度 助成団体一覧】

### 高額(4 団体)

団体名	主な活動地	活動概要
NPO 法人ウヨロ環境トラスト	白老町	<b>NPO 等が連携した森づくり人材育成事業</b> NPO やボランティアによる森づくりの広がりや技術の向上を図るため、森林ボランティアの人材の育成と活動団体の拡大を目標に、人工林の間伐や森林の天然更新方法についての盛りづくり研修会と間伐材活用の研修会の実施、そのための森づくり研修会の整備を進める。
有限会社三素	富良野市	<b>富良野の未利用材でのエネルギー地域循環システムの構築</b> 富良野地域での未利用木材を有効活用することで、地域の雇用創出、経済の地域循環における活性化、および二酸化炭素削減による、地域温暖化の防止を狙った事業の運用を検討している。本格的運用のためのノウハウを蓄積する。
飛生アートコミュニティー	白老町	<b>飛生の森づくりプロジェクト</b> 旧飛生小学校の校舎裏に残る笹が伸び放題の放置林を再び、子どもたちが自然にふれあい、学び、遊び、集える森として未来に繋げたいと 2011 年から 5 年計画で森づくりに着手した。2016 年は森づくりを次のステップに発展させる。
帯広コンテポラリーアート実行委員会	帯広市	<b>帯広コンテポラリーアート「ヒト科ヒト属ヒト展 2016」</b> 帯広の森と帯広百年記念塔を会場に、「森とは何か」という原点に立ち返り、参加者が森を作り出すことをテーマに制作を行う。美術作家と市民による間伐樹木を使った公開制作も行う。

### 小額(17 団体)

団体名	主な活動地	活動概要
NPO 法人ビオトープ・イタンキ in 室蘭	室蘭市	「獲物のあるビオトープ」として身近な自然を再生することにより、子どもたちの健全な成長と郷土の緑化に寄与する。2006 年～2011 年に、水域面積 2000 平方mのビオトープを造成。現在はビオトープの管理整備と海岸林を中心とした自然再生の促進、小学生の体験学習を中心に自然体験サポートを行っている。
NPO 法人トラストサルン釧路	釧路市	釧路湿原保全のため、周辺丘陵地に自然保護地を設け、水源林の保全と復活に努める。植樹には地元産の種子から育てた苗を使用する。釧路湿原と周辺の丘陵地に 24 カ所、合計 426ha の土地を自然保護地として管理。緑化活動も並行して行い、広葉樹の苗を毎年 600～2000 本植栽している。
旭山公園キッズ	札幌市	藻岩山から円山に続く自然環境を生かし、「森に気づく、森を知る、森と遊ぶ」ことを大切に、人と人のふれあいができる場の提供を目指している。旭山記念公園周辺での野鳥観察会や森の遊び場の開催、エゾオオムラサキ復活のための「エゾエノキ植樹プロジェクト」を行っている。

河川愛護団体 リバーネット2 1ながぬま	長沼町	長沼町の良好な水辺環境や文化活動の啓発・発展のため、河川環境啓発、河川を通じた交流事業の支援、河川環境の整備・調査・研究を行っている。水害防止とCO2削減のため、小鳥のさえずりの聞こえる森をめざし、苗木づくり、植樹、木育活動に取り組んでいる。
恵庭ふるさと100年の森	恵庭市	恵庭市島松沢に位置する企業林をフィールドに、幼稚園や保育園の子どもたちが森で遊び、大人たちと一緒に森の恵みを得ながら、心に「ふるさと」を宿すための活動を進めている。また、将来の子どもたちへ守り引き継ぐために、地元産種子で苗を育てて植樹し、間伐などの手入れを行っている。
手稲さと川探検隊	札幌市	手稲山麓の里と川を拠点に、親子で周囲に身近な自然が豊かにあることを感じ、楽しめるプログラムの企画実施を行い、森や川、生きものと人と人とのつながりを、単に知識だけではなく、五感を通して感じられる活動を展開。今後はアイヌ文化にも学びながら、森の恵み、特に食や衣に関わる活動を展開し、森から繋がる地域のまちづくりを進める予定。
飛生アートコミュニティー	白老町	旧飛生小学校の木造校舎を拠点に活動する、アーティストを中心とした団体。笹が伸び放題だった学校林を人が集える場所に再生し、未来につなげるため、森づくりを行っている。森全体をひとつの作品としてとらえ、自然と人が豊かに共存し、地域の交流拠点となる森づくりを目指している。
当別森林ボランティア シラカンバ	当別町	当別町の森林を主な拠点に、森林ボランティア活動を通じて、森林保護育成や自然環境保全の推進、教育に寄与することを目的とする。今年で会設立10周年を記念する植樹祭、会員所有山林への重点的施策、荒廃していく里山林の保全管理や資源の活用を実施する体制を整える事業に参加していく予定。
里見緑地を守る会・どんぐり	北広島市	里見緑地周辺の住民ボランティア団体として発足。住宅街近くに残された「里見緑地（第3周辺緑地）」の環境整備・保全と活用を通じて、地域活性化を図る。地元自治会と連携して、地域住民が散策し、森とふれあうことができる緑地の整備を行っている。
NPO 法人緑の探検隊	旭川市	緑の視点で街作りを考える視点で、市民への啓発、会員の資質向上、街作り事業の実施、緑化推進を行う。街路樹と周辺森林の緑を回廊化するグリーンベルト構想に基づき、学習・見学・交流、緑化、街路樹や緑視率などの調査を行う。市郊外の山で植樹用の苗木管理、森林整備を行っており、今年は桜を追加植樹予定。
白糠町緑化推進委員会	白糠町	町内の林業・林産業の振興と緑化運動等を推進し、森林の保育育成を図り、豊かな森林資源の造成に努め、国土保全及び生活環境の緑化に尽力するとともに、林業後継者の育成、確保及び各種技術等の取得のための諸活動を実施し、郷土の発展に寄与することを目的に活動している。

木育マイスター道東支部	釧路市	道東エリアで、身近に木が使われる重要性を正しく伝えることなどを目的に活動。釧路管内の間伐材を使った木工教室や研修会などを行う。今後はより多くの人に「木」と触れ合い、「木」に学んでもらい、「木」と生きていただくために森に実際に入って全身で「木」に触れる企画、森の丸太がどう加工され製品になる過程を知る企画も実施予定。
北海道林業技士会	札幌市	森づくり技術の専門家「林業技士」の道内資格保持者がメンバー。江別市や札幌市の小学校の総合学習支援、市民観察会の開催、森林整備活動への技術指導・ガイド活動を行う。引き続き、野幌森林公園や藻岩山周辺の4小学校の体験学習支援と市民対象の森林観察会を実施し、林業の普及啓もう活動を積極的に展開予定。
NPO 法人北海道新エネルギー普及促進協会	札幌市	北海道における新エネルギー、ローカルエネルギー及び省エネルギーの普及促進に関する各種事業を推進。林産物を活用した木質バイオマスの普及啓発に力を入れ、薪やペレットストーブの燃焼実験、市民対象の施設視察を行う。今年度は各種セミナーの継続と、ペレットユーザーの声を製造・流通業者に届ける取組を進める予定。
札幌市立駒岡小学校 緑の少年団	札幌市	札幌市の小規模特認校・駒岡小学校の保護者、学校教員、児童で構成する団体。自然豊かな学校林「こまおかの森」を活用して、地元の森林ボランティア団体と連携し、樹木、植物、野鳥の観察や植育樹、きのこのホダ木栽培など実践的な活動を行っている。
NPO 法人バイオマス北海道	札幌市	北海道におけるバイオマス利活用の普及・啓発および研究開発などに関する事業を行う。木質バイオマスの利用は廃棄物の発生抑制、エネルギー資源の有効利用、森林の適切な整備、山村地域の活性化の解決策として捉える。「バイオマス利活用講座」を今年から開催中で、今後、充実・拡大予定
角山小学校 PTA	旭川市	角山小学校（7児童、4家庭）と地域の活性化のために良い教育環境を作ること、子どもの健全な成長を図ることを目的に活動。今後は学校周辺の樹木整備、樹木学習をテーマにした総合学習4時間の実施、石狩・空知地区で開催される植樹祭や植樹地整備などに団体として参加し、広く森づくりに関わり、未来の森について考えていく。